



Medical Journalists  
Association  
of Japan

主催  
日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部

公開シンポジウム

# ハンセン病とメディア

Leprosy  
×  
Media

日時 2018年 **10月20日(土)**

14時30分～17時30分 (開場: 14時15分)

会場 福岡市NPO・ボランティア交流センター  
「あすみん」セミナールーム (81席)

福岡市中央区今泉1-19-22 天神テラス4階 ☎092-724-4801

《司会》●中村 弥和 氏(教育ジャーナリスト) 《開会挨拶》●波多江 伸子(日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部副支部長)

【第1部】基調講演 (1時間)

## 日本近代ハンセン病対策の歴史的考察

～患者及び家族は  
国家権力によって迫害された～



講師 日本ハンセン病学会理事・医師 **和泉 真蔵 氏**

【略歴】1937年、中国長春市(旧満州)生まれ。63年、大阪市立大学医学部卒業。京都大学医学博士。国立多摩研究所(現・国立感染症研究所ハンセン病研究センター)生体防御部長、国立療養所大島青松園外科医長を経て、独立行政法人国際協力機構のシニア海外ボランティアとして、インドネシア・アイルランガ大学熱帯病研究所ハンセン病研究室に勤めた。現在、日本ハンセン病学会理事、ハンセン病市民学会共同代表、アイルランガ大学研究顧問。著書に「医者への僕にハンセン病が教えてくれたこと」。

【第2部】パネルディスカッション (2時間)

## ハンセン病を思う ～それぞれの立場での過去・現在・未来～

《コーディネーター》●佐久間みな子氏(フリーアナウンサー、KBC九州朝日放送OG)  
●松本 博氏(ジャーナリスト、共同通信OB)

《パネリスト》●和泉 真蔵氏  
●志村 康氏(国立療養所菊池恵楓園入所者自治会長、ハンセン病市民学会共同代表)  
●久保井 掇氏(弁護士、元NPO法人患者の権利オンブズマン理事長)  
●森 紀子氏(熊本日日新聞編集局編集三部次長)  
●吉松 晃子氏(南日本新聞報道部記者)

《閉会挨拶》●藤野 博史(日本医学ジャーナリスト協会理事・西日本支部長)

●会場のご案内●



入場料 1,000円

お問い合わせ・お申込みは

特定非営利活動法人  
日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部  
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-2-6-303

E-mail ▶ Mejawest@mejaw.jp

Web ▶ http://mejaw.jp 「お問い合わせ」フォーム

電話 ▶ 090-2082-9824 藤野(支部長)

